

# 前を向いて、出会い、つながる。そこに「希望の道」がある。 認知症とともに歩いていこう。

## 7人の認知症本人を動画でご紹介「希望の道—認知症とともに生きる—」

認知症の診断を受けた後も、自分らしい生き方を続けている人。  
当事者として社会に貢献する活動を始めた人。これまでの人生を見つめ直し、新たな楽しみを見つけた人。  
自分の思いや希望を伝えて、楽しみながらチャレンジしよう。

楽しくないと  
楽しくならない。

北海道  
福田貞夫さん



看護師の経験を活かして  
みんなにお返しができる。

鳥取県  
松本とよ子さん



認知症になっても  
仕事と趣味で充実してる。

京都府  
下坂厚さん



自分から外に出て  
人と話をするっていうのは楽しい。

山形県  
及川昌秀さん



好きなことをやって生きる。  
こんなに幸せなことはない。

神奈川県  
望月省吾さん



自分らしくいれる場所で  
楽しく過ごせて私は幸せ。

静岡県  
森 累美子さん



人の役に立てる。  
ここに来てよかった。

鹿児島県  
川原多喜子さん



詳しくは厚生労働省認知症本人大使「希望大使」へ

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/kaigo\\_koureisha/ninchi/kibou.html#movie](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/ninchi/kibou.html#movie)

※本動画は令和2年度厚生労働省「認知症普及啓発事業」の一環として、希望大使や認知症の人と家族の会の皆様に参画いただき、作成されました。

動画は  
こちらから

